

大麦特報 (第4号)

令和元年5月
富山市農業協同組合
富山農林振興センター

本年は、出穂後、気温がやや高く推移していることから、成熟期は5月下旬～6月初旬となる見込みです。

下表を参考に、成熟したほ場から計画的に刈取りを進めましょう。

刈取前の注意事項

(1) カラスノエンドウの抜き取り
刈取前にはほ場を巡回し、カラスノエンドウがあれば必ず抜き取り、ほ場外で処分しましょう。

この種子(右写真参照)は粒厚が3mmと大きく、刈取時に混入すると、調製では取り除くことができません。



<成植物>



種子
1目盛=1mm

(2) 被害粒の混入防止

湿害等による生育不良の箇所では、品質低下や病害の発生が懸念されます。赤かび病等発生が認められる場合は、刈取及び搬入は別扱いとしましょう。

適期刈取の実施

《刈取時期の予想》

出穂日	4/12	4/16
成熟期(予想日)	5/29頃	6/1頃

*成熟期：出穂日以後の積算気温(5月15日以降は富山気象台秋ヶ島平年値の+1.5℃/日を使用)で予想。

屈曲した穂の割合が50%程度になったら、収穫です!

穂軸と茎葉が完全に黄化し、**子実水分30%以下**となったほ場から**順次刈取りを開始**しましょう。

早刈りは粒の充実が不十分で**空洞粒の原因**となります。また、**刈遅れは収穫ロスが多くなる**うえ、**熟色不良**となるため、穂首が折れる前に収穫を終えましょう。

